

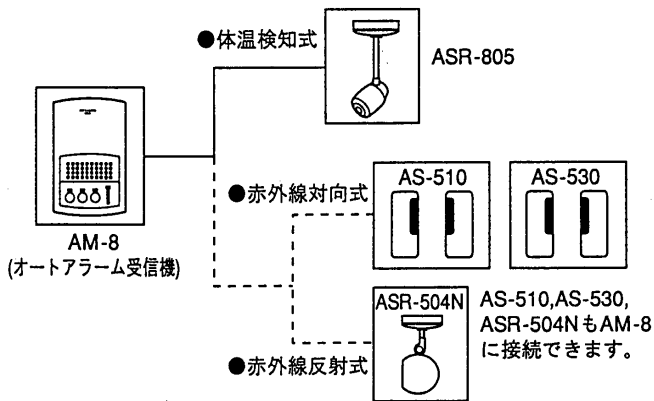
このたびは東芝オートアラームをお買い上げいただきありがとうございます。オートアラームを正しく使っていただくためにこの取扱説明書をお読みください。お読みになったあとも必ず保管ください。この機器は盗難防止用ではありません。盗難事故などの損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

工事店様へ

●工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

●体温検知式セット:AAR-805

受信機(AM-8)1台/検知器(ASR-805)1台

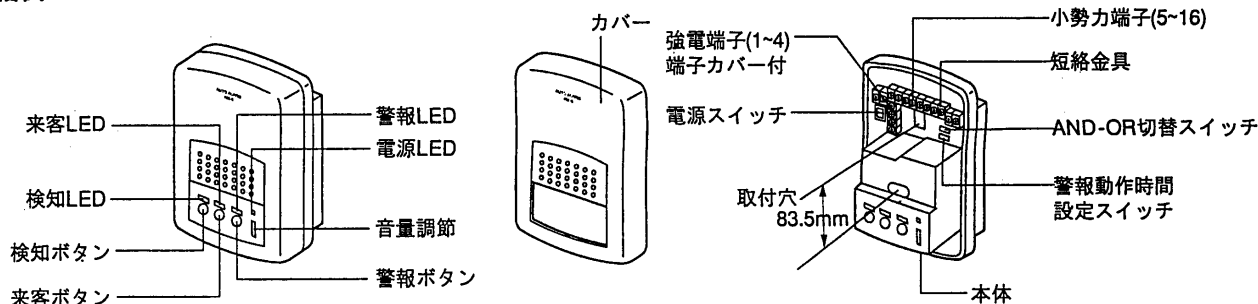


警告

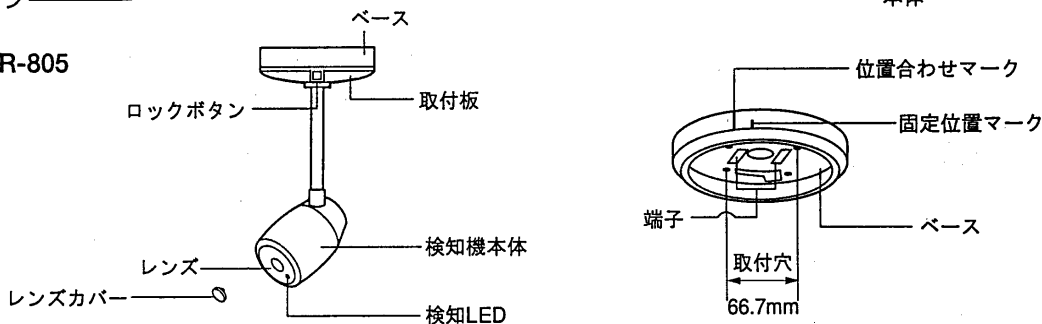
- 電源(100V)を切った状態で施工してください。(活線工事は感電、故障の原因になります。)
- 100V用の端子以外には100Vの電源線は接続しないでください。(発火発煙の原因になります。)
- 端子への接続は確実に行ってください。(発熱の原因になります。)
- 製品の分解はしないでください。(故障の原因になります。)

各部のなまえ

●受信機:AM-8



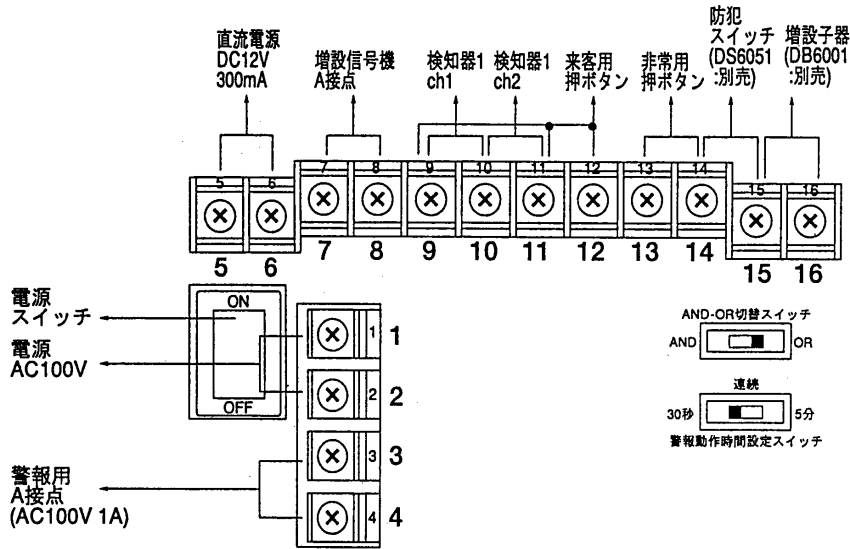
●検知器:ASR-805



ご注意

- 電源スイッチONで、待機モードになりますが、待機モードでは検知動作は行いません。かならず来客モード(来客ボタンを押す)または警報モード(警報ボタンを押す)に設定してください。
- 100V電源は絶対に小勢力端子(5~16)に接続しないでください。
- この商品は屋内専用です。屋外には設置しないでください。また以下の場所には取り付けしないでください。
 - ストーブなどの暖房器具の真上や、その付近。
 - 風呂場など特に湿度の高いところ。
 - 有害なガス。
- AC100V以上の電源線と近接、平行、交差して配線しないでください。(50cm以上離してください。)
- 検知器(ASR-805)は、電源を通电してから監視状態になるまで約45秒かかります。
- 検知器(ASR-805)は、検知エリア内に人が入ったときの温度変化(体温との温度差3°C以上)を検知する方法です。
- 強力な電気雑音や無線ノイズ(タクシー無線など)により誤動作する事がありますが異常(故障)ではありません。
- 小動物(犬、猫、など)でも動作します。
- 警報モードで動作した場合はリセットしない限り設定時間(30秒、5分、連続)だけ動作し続けます。
- 器具が汚れた場合は柔らかい布で拭いてください。ベンジン、シンナー等の薬品では拭かないでください。

配線のしかた

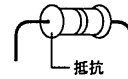


電源スイッチ: 電源スイッチをONにすると待機モードになります。待機モードでは検知動作は行いません。かならず来客モード(来客ボタンを押す)または警報モード(警報ボタンを押す)に設定してください。

端子

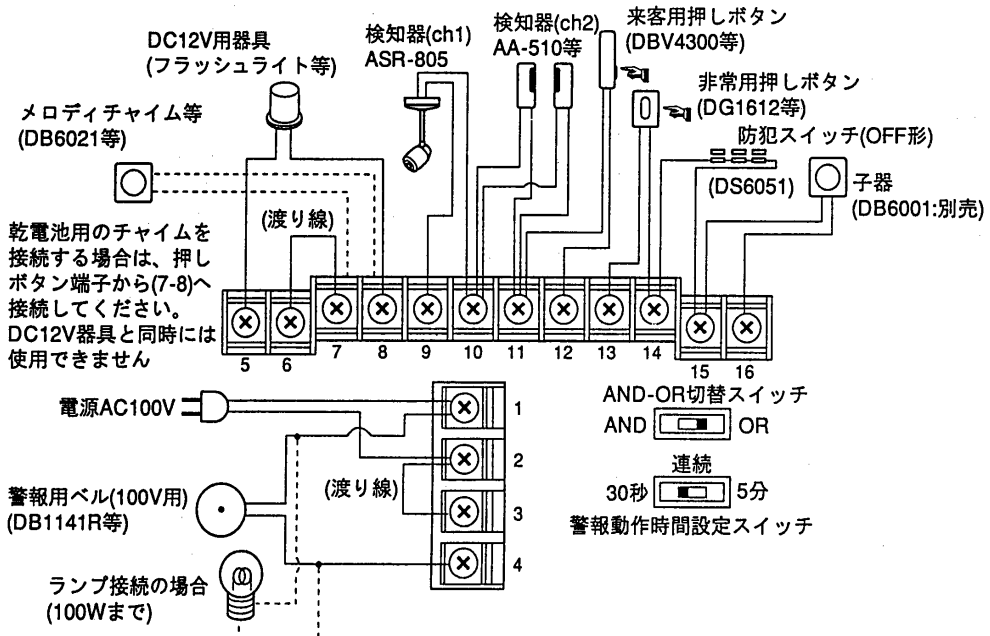
- 1-2:AC100V電源端子です。
- 3-4:警報時専用の増設信号機端子です。(無電圧A接点) 定格:AC100V1A
- 5-6:直流電源です。電圧:12V300mA 5:プラス側 6:マイナス側
- 7-8:増設信号機端子です。全ての検知時(鳴動時)に動作します。定格:30V1A
- 9-10(ch1):検知器1の端子です。(来客モード「ピンポン」 警報モード「ピーポー」)
- 10-11(ch2):検知器2の端子です。(来客モード「ポロロン」 警報モード「ピーポー」)
- 11-12:来客用押しボタン接続端子です。(来客モード「ピンポン」)
- 12-13:来客用押しボタン接続端子です。(来客モード「ポロロン」)
- 13-14:非常用押しボタン接続端子です。(動作モードに関係なく警報鳴動します。)
- 14-15:防犯スイッチ(OFF形)を接続する端子です。(DS6051:別売)
(出荷時は短絡金具で短絡されています。)
- 15-16:増設子器(DB6001:別売)を接続する端子です。受信機と同じ音色でなります。子器単独での音量調節はできません。受信機の音量調節に準じます。

※付属の抵抗(100Ω 2W)は、検知器がない場合、ch1、ch2に接続して、動作を確認するためのものです。動作確認のため直接電線等で、ch1、ch2をショートしないでください。故障の原因になります。



- AND・OR切替スイッチ: 「AND」側はch1とch2が同時に検知したときのみ動作
「OR」側はch1とch2のいずれかまたは両方が検知したとき動作
- 警報動作時間設定スイッチ: 警報検知時の動作時間を設定します。(30秒、5分、連続)
(出荷時は「OR」側、30秒側に設定されています。)

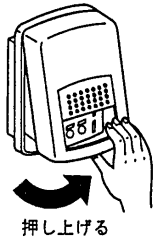
結線例



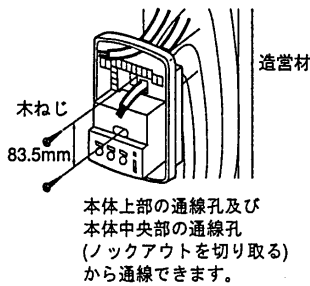
取り付けかた

(受信機:AM-8)

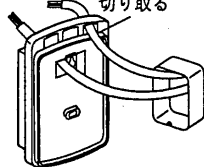
■カバーをはずす



- 配線方法
●露出配線/埋込配線どちらでも可能です。
■造営材に直接取り付ける場合。(露出配線) 付属の木ねじ(M3.5×25 2本)で固定する。

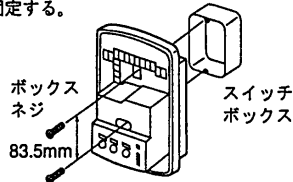


(埋込配線) ノックアウトを切り取る



本体中央部の通線孔及び
上部の通線孔から通線
できます。

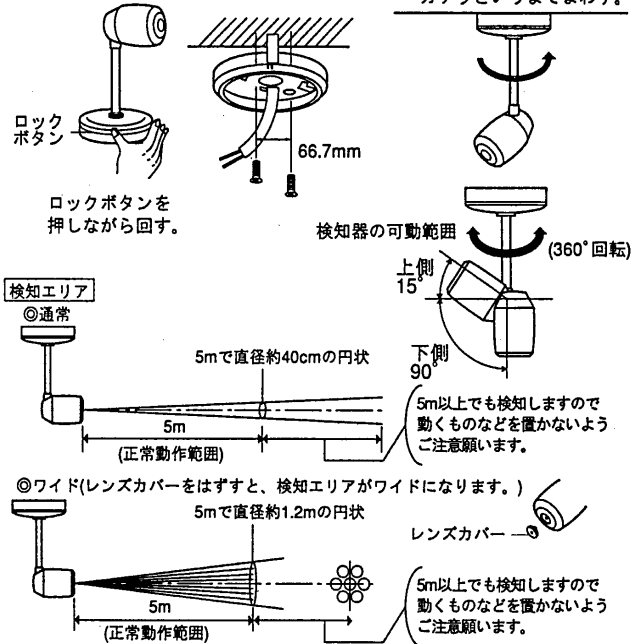
- スイッチボックスへ取り付ける場合。
付属のボックスねじ(M4×30 2本)
で固定する。



(検知器:ASR-805)

(取付は、66.7mmピッチで
木ねじで、直付け又は
ボックスへ取りつける)

- 1.ベースをはずす 2.ベースを造営材(天井など)に取りつける。 3.固定位置マークまで合うようにロックボタンがカチッというまでまわす。



使いかた(結線例の場合)

- 本体の電源スイッチを「ON」にします。AM-8は約10秒後に待機モードになります。
- 待機モード時は電源LEDが点灯。待機モードでは非常用押しボタンからの信号以外は受け付けません。
- カバーをはめて動作モードを設定します。

●「来客モード」で使用する場合。

来客ボタンを押します。来客モードになります。検知、来客、電源のLEDが点灯。
1.検知器1または検知器2に接続された検知器(ASR-805,AS-510等)が人間を検知するとそれぞれの鳴動音で受信機から報知音が鳴ります。
(注:ASR-805は電源投入後約45秒で監視状態になります。)

- a.3-4端子の警報ベルは鳴動しません。
 - b.5-6端子のフラッシュライトは点灯動作します。
 - c.15-16端子の子器からは受信機本体と同じ鳴動音が鳴ります。
- 2.11-12端子の押しボタンを押すと(ch2)の「ポロロ〜」が鳴動します。
その他の動作は、上記1と同じ動作をします。

- 3.13-14端子の非常押しボタンを押すと警報動作となり警報音「ピーポー」が鳴動します。鳴動時間は警報時間設定スイッチで設定した時間です。
a.3-4端子の警報ベルは鳴動します。 b.5-6端子のフラッシュライトは点灯動作します。
c.15-16端子の子器からは受信機本体と同じ鳴動音が鳴ります。
- 4.14-15端子に接続された防犯スイッチは働きません。

●「警報モード」で使用する場合。

警報ボタンを押します。警報モードになるまで約3分かかります。

(警報待機モード:警報のLEDが点滅)

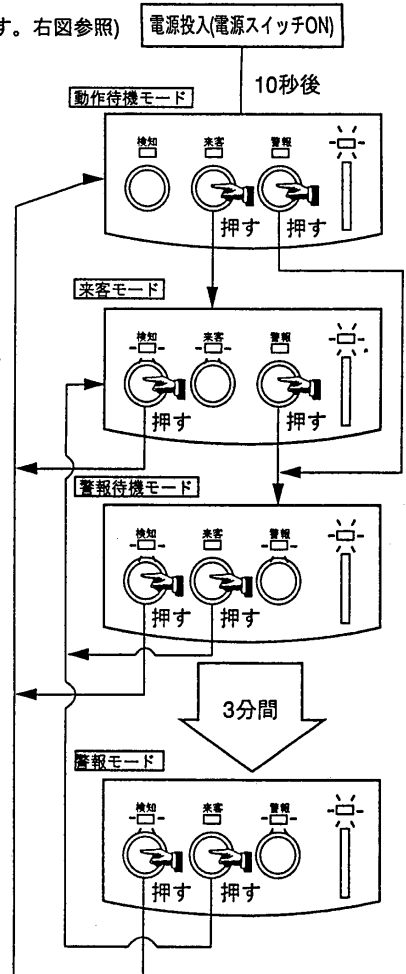
※警報待機モードの3分間は来客モードと同じ動作をします。

約3分経過後警報モードになります。検知、警報、電源のLEDが点灯。
1.検知器1または検知器2に接続された検知器ASR-805AS-510等が人間を検知すると「ピーポー」音で鳴動します。

- 鳴動時間は警報時間設定スイッチで設定した時間です。
a.3-4端子の警報ベルは鳴動します。
b.5-6端子のフラッシュライトは点灯動作します。
c.15-16端子の子器からは受信機本体と同じ鳴動音が鳴ります。
- 2.11-12端子の押しボタンを押しても動作しません。
- 3.13-14端子の非常押しボタンを押すと警報動作となり警報音「ピーポー」が鳴動します。鳴動時間は警報時間設定スイッチで設定した時間です。
a.3-4端子の警報ベルは鳴動します。
b.5-6端子のフラッシュライトは点灯動作します。
c.15-16端子の子器からは受信機本体と同じ鳴動音が鳴ります。

- 4.14-15端子に接続された防犯スイッチが動作すると警報動作となり警報音「ピーポー」が鳴動します。
鳴動時間は警報時間設定スイッチで設定した時間です。
a.3-4端子の警報ベルは鳴動します。
b.5-6端子のフラッシュライトは点灯動作します。
c.15-16端子の子器からは受信機本体と同じ鳴動音が鳴ります。

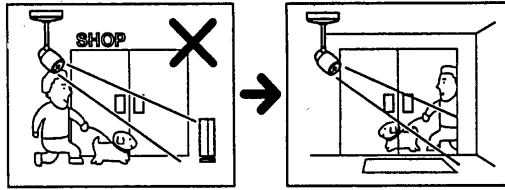
- 警報動作の途中で警報をストップする方法は検知ボタンと警報ボタンを同時に押してリセットをかけます。リセット後は警報待機モードとなります。



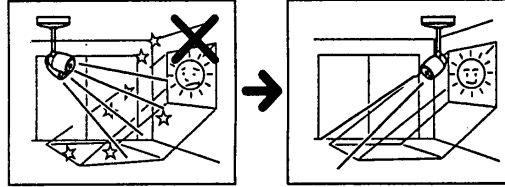
設置時のご注意

体温検知式検知器 ASR-805

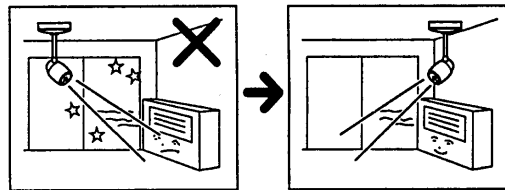
■屋内専用ですので、屋外には取り付けないでください。



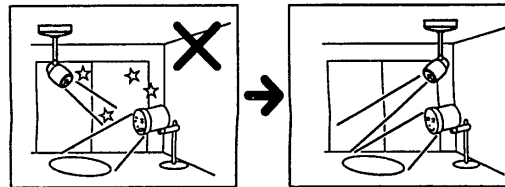
■太陽光が直接入射する窓などには、検知方向を向けないでください。



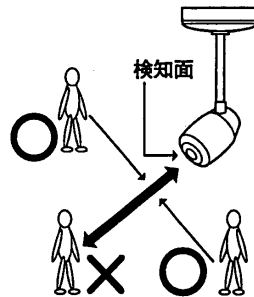
■空調(エアコン)の吹出口へ、検知方向を向けないでください。



■白熱電球などの急激に温度の変化する物へは、検知方向を向けないでください。



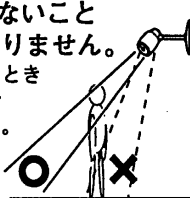
- 人が検知面に向かって出入りする方向では、正常に動作しません。
- 検知エリアの確認は、必ず実際に動いて確認してください。
検知LEDの点灯で検知エリアがわかります。



- 下記の場合、正常動作しないことがあります。異常ではありません。

- 検知範囲ギリギリを人が通ったとき

処置 右図を参照して取付場所や方向を変えてください。
人間の上半身をねらうように検知方向を向けてください。



- 大きな荷物を持った人や、レインコートなどの体温を伝えにくい衣類を着た人が通ったとき

処置 人間の上半身をねらうように検知方向を向けてください。

- 検知範囲内に金属板や、光沢のあるプラスチック板があるとき。

処置 金属板やプラスチック板をとり除くかまたは取り付け方向を変えてください。
(金属板やプラスチック板は熱線(赤外線)をよく反射するので検知範囲外のものを検知することがあります。)

- 小動物(犬・猫など)が通ったとき

小動物も人間同様熱線を出しますので、検知することがあります。

- 周囲温度が、人間の体温に近づいた場合。
(温度差:3°C以上で検知)

動作モード一覧表

※出力側端子は、非常用押しボタンを操作した場合は、動作モードに関係なく全て動作します。

接続端子 動作モード	入力側端子					※出力側端子			
	検知器1	検知器2	来客用 押しボタン	非常用 押しボタン	防犯スイッチ	警報用 A接点	増設信号器 A接点	直流電源 DC12V	増設子器
動作待機モード	×	×	×	○ (ビーポー)	×	×	×	○	×
来客モード	○ (ピンポン)	○ (ポロロン)	○ (ピンポン又はポロロン)	○ (ビーポー)	×	×	○	○	○
警報待機モード	○ (ピンポン)	○ (ポロロン)	○ (ピンポン又はポロロン)	○ (ビーポー)	×	×	○	○	○
警報モード	○ (ビーポー)	○ (ビーポー)	×	○ (ビーポー)	○	○	○	○	○

点検チェックリスト

人が通らないのに 検知動作をする	<ul style="list-style-type: none"> ●検知エリア内に、急激な温度変化を与えるものがないか ●検知エリア内で何か動くものがないか ●近くに強い電氣的雑音を出すものはないか ●検知エリアの延長上(5m以上)で、人やその他動くものがないか 	<ul style="list-style-type: none"> →原因となるものを取り除く →雑音源をとり除く、または取付位置を変える →検知エリアを調整する
人が通っても 検知動作をしない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源は入っていますか ●来客モード、警報モードになっていますか ●電源を入れて45秒以上経過していますか ●検知方向は、ずれていませんか ●検知器の前面にしゃへい物はありませんか 	<ul style="list-style-type: none"> →電源を入れる →動作モードを設定する →45秒以上待つ →検知エリアを調整する →しゃへい物を取り除く
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●端子ねじのゆるみはありませんか ●検知面(レンズ)は汚れていませんか 	<ul style="list-style-type: none"> →端子を締め直す →柔らかい乾いた布でふきとる

仕様

品名	オートアラーム受信機	
形名	AM-8	外形寸法 195(タテ)×130(ヨコ)×52(タカサ)(mm)
定格電圧	AC100V±10%	50Hz60Hz共用
消費電力	待機時 5W(2W-10W)	動作時 10W(5W-20W)
使用場所	屋内	
使用温度	-10°C~40°C	
呼び出し音	来客モード・・・鳴り分け機能有り 検知器1・・・ピンポンピンポン 検知器2・・・ポロロンポロロン 警報モード・・・鳴り分け機能なし 検知器1 } ビーポービーポー 検知器2 } 防犯スイッチ } 非常用押し釦 } 音量 最小0-75dB(音量調節可能)警報時は75dBに固定(正面1m)	
鳴動時間	来客モード 約3秒	警報モード 約30秒 約5分 連続 (スライドスイッチによる切替)
増設信号器	警報用接点(3-4端子) 無電圧トランスファ接点 1a AC100V1A 警報時のみ動作 動作時間は、鳴動音に準ずる 接点(7-8端子) 無電圧トランスファ接点 1a AC/DC 30V1A 全ての鳴動音に動作 動作時間は、鳴動音に準ずる	
検知器接続	ch1(9-10端子)、ch2(10-11端子) 各ch毎 検知器(体温検知式)・・・4台 (ASR-805,ASR-605) 検知器(赤外線反射式)・・・1台 (ASR-504N) 検知器(赤外線対向式)・・・1セット (AS-510,AS-530)	
押しボタン接続	押し釦(A接点)(9-12端子)、(11-12端子)・・・制限なし(動作は検知器chに準ずる)	
DC出力	DC電源(5-6端子) DC12V 300mA	
防犯スイッチ	OFF形マグネットドアスイッチ接続端子(14-15端子)出荷時短絡金具により短絡 警報モードのみ動作	
非常用押し釦	a接点入力(13-14端子) 動作モードに関係なく警報動作 動作時間 ワンショット入力:警報設定時間 連続入力:連続	
増設子器	外部出力用スピーカー端子(15-16端子) DB6001(WS)(CS)2台接続可	
操作スイッチ	受信機表面(プッシュスイッチ) 検知ボタン 動作モードの切 来客ボタン/警報ボタン 動作モードを切り替える ボリューム 音量:小(0)-大(Max) 「来客から警報への切替時間(3分)」 受信機内部 電源スイッチ 入(ON)/切(OFF) 警報時間時間 30秒-5分-連続 警報時の動作時間を切り替える AND-OR切替 AND-OR AND側ではch1とch2が同時 (出荷時はOR側) 検知したときのみ鳴動(音:ch1)	
表示	電源(切・消灯、入・点灯)、検知(入・点灯、鳴動時・点滅)、来客・警報	
取り付け	スイッチボックス取付(取付ピッチ83.5mm)埋込・露出配線可	
付属品	電源コード、チェック用抵抗、木ねじ2本、ボックスねじ2本	

品名	オートアラーム検知器
形名	ASR-805
電源	DC12V 2線式無極性
消費電流	監視時:3mA 検知時:100mA
検知方法	焦電センサによる体温検知式
使用場所	屋内専用
使用周囲温度	-10°C~45°C
検知エリア	検知距離 5m 5mの距離で直径約(40cm)の円状 ワイド検知:レンズカバーをはずす 5mの距離で直径約(1.2m)の円状
検知対象	通常の人間の歩行速度(0.3m/秒~3m/秒) 検知時LEDによる表示
取り付け	造営材へ直取付またはボックス取付 (ボックス取付時の取付ピッチは66.7mm) 埋込配線、露出配線

配線距離(m)(防犯スイッチを除く)

使用電線	配線距離
0.5mm ² (20心/0.18mm) Φ0.8mm	50m
0.75mm ² (30心/0.18mm) Φ1mm	70m
1.25mm ² (50心/0.18mm) Φ1.2mm	100m
2.0mm ² (37心/0.26mm) Φ1.6mm	100m

●配線距離は、受信機から、各機器(検知器等)までの距離です。

防犯スイッチ部と受信機間の配線距離(往復距離)

使用電線	配線長さ
0.3mm ² (直径φ0.65)	1.000mまで
0.5mm ² (直径φ0.8)	1.500mまで
0.75mm ² (直径φ1.0)	2.000mまで

注1.上の配線長さはスイッチ部100個のときの値です。
2.その他の使用個数については配線抵抗及び接点の接触抵抗の合計が100Ω以下になるようにご使用ください。

修理・サービス

ご使用中に、異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切ってお買い上げの販売店(工事店)、東芝お客様センターへご相談ください。

東芝ライテック株式会社 照明電材事業部 電材機器部 〒140東京都品川区南品川2-2-13(南品川JNビル) TEL03-5463-8777